

Japan creation space monova (モノヴァ) は、モノづくりの情報発信をするショールームです。
日本各地のモノづくり企業、個人で活動するデザインクリエイターのご紹介のほか、ギャラリースペースでライフスタイル提案型の企画展を開催しております。

monova select

おすすめのシーズン商品やお客様から人気のmonovaアイテムをご紹介します。

読書の秋 特集



文庫本サイズの本立て(index付き)

シンプルなステンレス製の本立て。
板金技術を活かした無駄のないデザインです。

価格：2,700円+税
製造：(有)山口製作所(埼玉県)



ペンダントループ

メガネの素材のセルロースアセテートが使われたループ。色鮮やかで軽く、丈夫です。

価格：5,000円+税
産地：鯖江市
(福井県)



重皮しおり

桜皮と牛皮を重ねたしおり。
使い込むほど艶が増し、経年変化を楽しめます。

価格：800円+税
製造：角館 伝四郎
(秋田県)

monova gallery 展示会案内

<現在開催中の展示会> 夏休み・親子モノづくりワークショップ 7/29(火)まで



8月28日(木)～ 9月9日(火)

やわらかなかたち 展

造形デザイナー酒井正による作品展。厚みのある紙に油性色鉛筆で彩色された作品を中心に展示いたします。
毎日の生活空間に取り入れやすいアート作品です。



9月11日(木)～ 9月23日(火)

美しい介護の器 てまる 展 2014

一昨年度大変好評だった「美しい介護の器 てまる展」。お皿に返しがついてお皿を置いたままスプーンですくいやすい器や持ちやすい溝がついた器などをご紹介します。今回は新商品のご紹介と講演会も行います。



9月25日(木)～ 10月7日(火)

3つの「産地」と「素材」が作用する SAYO 展

SAYOは、「作り用いて作用しあう」をテーマに、産地メーカーが地域や素材の枠を越えて新たな作用を試むプロジェクト。日本の伝統技術にデザインというエッセンスを加え新しい日本のライフスタイルを提案します。



10月9日(木)～ 10月21日(火)

秋のはじまり・冬じたく 展

5月のクリエイター展示「オデカケコレクション」に続き、秋はリビング系のクリエイター展示を行います。秋の夜長、家にいる時間を楽しんでくれるツールや陶器・敷物など食卓や机周辺で使うものをメインにご紹介いたします。



10月23日(木)～ 11月4日(火)

天女の羽衣 展

2014年秋冬の新作をご紹介します。
今回の新作は秋冬のトレンドのグレイッシュパステルカラーに細密な刺繍を施し、立体感を感じさせるスカーフです。



12月18日(木)～ 1月6日(火)
青柳家の食卓 2015初春 展

めで鯛！ よろ昆布！ おもしろ可笑しいクラフトおせちの展示です。
木目を上手く活かし、精巧なつくりのアート作品をご紹介します。

<お問合せ> Japan creation space monova 担当：近藤

tel : 03-6279-0688 mail : info@monova-web.jp WEB : <http://www.monova-web.jp>

monovaでは各メーカーとの直接のお取り引きをサポートしています。
ご関心のあるバイヤー・プレス様に出展メーカーをご紹介しますので、気軽にお声掛け下さい。

酒井 正主催
「やわらかなかたち 展」を開催！
2014年8月28日(木)～9月9日(火)

造形デザイナー酒井正による作品展。厚みのある紙に油性色鉛筆で彩色された作品を中心に展示いたします。
毎日の生活空間に取り入れやすいアート作品です。



生活にアートを！

造形デザイナー酒井正の制作による作品展

昨年のmonovaギャラリー展示に引き続き造形デザイナー酒井正（SAKAI Tadashi）の作品を、新作を中心に展示いたします。厚さのある紙に油性色鉛筆で彩色をして絵画的要素を取り入れた作品は、毎日生活する空間に変化を与えます。観るたびに違った世界をイメージできる不思議なかたちたちをご紹介します。気軽に飾ることができる身近なアートからお気に入りの作品を探してください。

【展示内容】

Floating on the frameシリーズ *写真

自由な形の面で構成された造形はカラフルに彩られています。抽象的な部分と具象的な部分がかみ合わさって、観る者に新しい発見を与えてくれます。

【酒井 正 略歴】

2000年に東京藝術大学大学院デザイン専攻を修了する。金属、石、木材、樹脂、紙等あらゆる素材を使って自由に造形活動に取り組む。自然現象を取り入れた動く造形を数多く制作する。近年はよりシンプルな構造と動きで鑑賞者に優しく働きかける作品を目指して研究を続ける。ワークショップ等を開催し身近なところでアートを感じ考える活動も続けている。
<http://art-sakai.com/top.html>

—開催概要— やわらかなかたち 展

会 期：2014年8月28日（木）～9月9日（火）
10：30 - 19：00 / 水曜定休 入場無料
会 場：monova gallery
東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 4階
主 催：酒井 正
協 力：Japan creation space monova

岩手県盛岡広域振興局、てまるプロジェクト主催 「美しい介護の器 てまる展 2014」を開催！

すべての人に“美味しい”を

2014年9月11日(木)～9月23日(火)

一昨年度大変好評だった「美しい介護の器 てまる展」。お皿に返しがついているのでお皿を置いたままスプーンですくいやすい器や持ちやすい溝がついた器などをご紹介します。今回は**新商品のご紹介**と講演会も予定しています。



定番品



新商品



新商品



定番品



展示会限定品

～手仕事の國 いわてから～

家族みんなで使う、やさしさをたっぷりの器

2012年9月に「美しい介護の器 てまる展」を開催させていただきましたが、この度、第二回目の展示会を開催させていただく事となりました。

今回のてまる展では定番商品のほか、より扱いやすいサイズ展開とカラーバリエーションの追加で新たなてまる商品のご紹介をさせていただきます。また、会期中は連動企画として食と器についての講演会も開催いたします。

多くの皆様の食事の在り方を見直す機会としていただければ幸いです。

【展示内容】

1) 新作商品

- ・漆器
定番商品に新たに漆器が加わりました。
- ・新作商品（磁器、陶器、拭き漆）
より扱いやすいサイズ展開とカラーバリエーション商品を追加致しました。

2) 定番商品（従来品）

- ・陶器・磁器・拭き漆の器、スプーンの定番商品
選りすぐりの商品を展示いたします。

3) スライドショー

- ・てまるの器を使った食事風景や製作風景写真等
盛り付け例やてまるの器を使った食卓、製作の様子をご紹介します。

【連動企画】

「食べる“よるこび” 介護で食事を楽しむためのひと工夫」

日 時：2014年9月21日（日）

12：00（11：30受付開始）～15：00

会 場：信愛のぞみの郷（東京都荒川区）デイサービスセンター

内 容：てまるを使った試食会&食事の楽しみを考えるトークライブ

主 催：てまるプロジェクト、高齢者アクティビティ開発センター

定 員：35名（定員になり次第締め切り）

※参加申込・費用等、詳細は高齢者アクティビティ開発センターHPをご覧ください。

<http://www.aptycare.com/temaru>

【てまる概要】

2008年：磁器専門工房の陶來（岩手県滝沢村）と岩手県工業技術センターが連携しユニバーサルデザイン食器を開発・商品化。

2010年：磁器、陶器、漆器による「てまるプロジェクト」がスタート。
(2011年度グッドデザイン賞 受賞)

【“てまる”とは】

作り手と使い手、高齢者、障がい者、子ども、家族…沢山の人の「手」が「輪（まる）」となつてつながり、「人と人」「人と社会」の結びになって欲しいという願いから命名しました。
てまるHP <http://temaru.jp>

－開催概要－

美しい介護の器 てまる展 2014

会 期：2014年9月11日（木）～9月23日（火）

10：30 - 19：00

水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：岩手県盛岡広域振興局、てまるプロジェクト

<お問合せ>

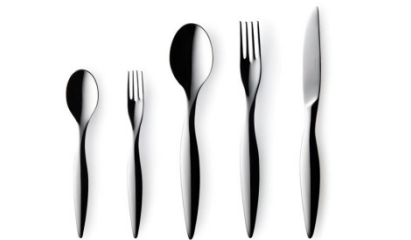
Japan creation space monova

担当：近藤

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

SAYO主催
3つの「産地」と「素材」が作用する
【SAYO 展】を開催！
2014年9月25日(木)～10月7日(火)

SAYOは、「作り用いて作用しあう」をテーマに、産地メーカーが地域や素材の枠を越えて新たな作用を試むプロジェクト。日本の伝統技術にデザインというエッセンスを加え新しい日本のライフスタイルを提案します。



響きあう、ジャパン
各地の産地メーカーが、地域や素材の枠を
超えて協働するブランド「SAYO」

燕振興工業、セラミックジャパン、角館 伝四郎は、新潟、愛知、秋田と県を越え、それぞれの持つ伝統技術を結束させ、これまでにない新たな産業形態で「SAYO」を立ち上げました。SAYOは、「作り用いて作用しあう」をテーマに、産地メーカーが地域や素材の枠を越えて新たな作用を試むプロジェクトです。

燕振興工業、セラミックジャパン、角館 伝四郎は、新潟、愛知、秋田と県を越え、それぞれの持つ伝統技術を結束させ、これまでにない新たな産業形態で「SAYO」を立ち上げました。

SAYOは、「作り用いて作用しあう」をテーマに、産地メーカーが地域や素材の枠を越えて新たな作用を試みます。

瀬戸の白磁、燕のステンレス、角館の樺細工、それぞれの素材と技術で表現する商品は、まったく異なる魅力が浮き彫りになります。互いが刺激し、高め合った作用。今、日本から響きあっています。

これまでの日本の伝統技術にデザインというエッセンスを加え新しい日本のライフスタイルを提案。SAYOのプロダクトを通して、地場産業と地域活性の新しいアプローチを感じていただければ幸いです。

【SAYO】

燕振興工業、セラミックジャパン、角館 伝四郎の3社が協業してもの作りを行い、地場産業と地域活性を行うプロジェクトです。

<http://sa-yo.jp>

－開催概要－ 3つの「産地」と「素材」が作用する SAYO展

会 期：2014年9月25日(木)～10月7日(火)
10:30-19:00 / 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery
東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：SAYO
協 力：Japan creation space monova

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：近藤

tel：03-6279-0688 (10:30-19:00 水曜定休) / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

Japan creation space monova主催
「秋のはじまり・冬じたく展」を開催！
2014年10月9日(木)～10月21日(火)

5月のクリエイター展示「オデカケコレクション」に続き、秋はリビング系のクリエイター展示を行います。秋の夜長、家にいる時間を楽しくしてくれるスツールや陶器・敷物など食卓や机周辺で使うものをメインにご紹介いたします。



①



②



③



④



⑤

秋の夜長に、和みをひとつ

家時間を楽しくする作家のモノづくり

5月のファッション系クリエイター展示「オデカケコレクション」に続き、この秋は、リビング系のクリエイター展示を行います。

秋の夜長は、縫物や書き物をしてみたいくなったり、お喋りをしたくなったり、何かと想像力が湧いてきますよね。そんなシーンに寄り添い、ホッと心を和ませてくれるクリエイター作品をご紹介します。

木工のスツールやカトラリー、陶器に敷物など、食卓や机の周辺で使うものがメイン。それぞれの手から生み出される、優しく丁寧な仕事をご覧ください。

■ツグミ工芸舎/木工 写真①

埼玉県秩父市にて、身近にある材（古材・間伐材・生樹、古いもの）を利用し、その出会いと背景に想いを馳せ、ひとつひとつ手作業で木工作品を制作している。

<http://tugumi-craft.jp/>

■studio stick

<http://www.studio-stick.jp/>

・小笠原森/陶器 写真②

多摩美術大学工芸学科陶プログラム卒業後、同大学大学院博士前期課程美術研究科工芸専攻修了。同研究室助手勤務を経て、独立。

・森重裕子/テキスタイル 写真③

多摩美術大学美術学部生産デザイン学科テキスタイルデザイン卒業。メーカーやジャンルの違うアーティストともコラボレーションしながら、暮らしの中で“あると嬉しくなるもの”をテーマに発表を行っている。

■布きれ・やました 山下枝梨子/織 写真④

多摩美術大学美術学部生産デザイン学科テキスタイルデザイン織専攻卒業。『生活によりそった ふだん使いの布』をテーマに手織り作品を制作している。

<http://nunokire.blog32.fc2.com/>

■梶山友里/陶器 写真⑤

武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科陶磁専攻卒業。同大学通信教育過程研究室助手勤務を経て、現在は自宅アトリエにて活動中。身近な植物や動物モチーフをレリーフにして陶器の花器、食器を中心に制作している。

<http://yuri-kajiyama.ciao.jp/>

—開催概要— 秋のはじまり・冬じたく展

会期：2014年10月9日(木)～10月21日(火)
10:30-19:00 / 水曜定休 入場無料
会場：monova gallery
東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 4階
主催：Japan creation space monova

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：近藤

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

天池合織株式会社主催
「天女の羽衣 展」を開催！
2014年10月23日(木)～11月4日(火)

2014年秋冬の新作をご紹介します。今回の新作は秋冬のトレンドのグレイッシュパステルカラーに細密な刺繍を施し、立体感を感じさせるスカーフです。



①



②

New! 刺繍と楽しむ 世界最軽量スカーフ

天女の羽衣スカーフ コレクション！

2014年秋冬の新作をお届けします。

服地としてだけでなく、パリオペラ座をはじめとする舞台衣装や舞台演出として活用されることも多い世界最軽量の生地。日本の数多くの有名舞台でも取り上げられ、国内外のデザイナーやアーティストのクリエイション意欲を刺激する素材として、今年も注目されています。

今回の新作は、秋冬のトレンドのグレイッシュパステルカラーに細密な刺繍を施し、立体感を感じさせるスカーフを実現しました。

【展示内容】

- ・透明感を残しながらも踊りだすような柄を組み合わせた綿刺繍。
(写真①)
- ・たつぷりと贅沢なドレープ感にシックなウール刺繍は上品さを演出。
(写真②)

保温性に優れ、手洗い洗濯・アイロンも可、と取扱い易く、持ち運びにも便利。他にはない最先端のファッションアイテムとしてギフトにもおすすめです。

【受賞経歴】

2013年 第5回「ものづくり大賞」経済産業大臣賞受賞

2014年 グローバルニッチ企業100選に選ばれました。

【天池合織株式会社】

合織の産地として有名な北陸、石川県七尾市に1956年創業。インテリア、スポーツ、産業資材など、各分野で高付加価値織物の糸加工から製織工程まで自社一貫で製造開発している。2006年より世界一軽く薄い“天女の羽衣”をヨーロッパ有名メゾンへの直接輸出を始める。2009年からは自社製品“天女の羽衣”スカーフを展開。2010年にはパリオペラ座の舞台衣装に起用される。「技術開発型」メーカーの基盤を確立し、自社ブランド化を目指す。

－開催概要－ 天女の羽衣 展

会 期：2014年10月23日(木)～11月4日(火)
10:30-19:00 / 水曜定休 入場無料
会 場：monova gallery
東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 4階
主 催：天池合織株式会社
協 力：Japan creation space monova

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：近藤

tel：03-6279-0688 (10:30-19:00 水曜定休) / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

青柳 豊和 主催
「青柳家の食卓 2015初春 展」を開催！
 2014年12月18日(木)～2015年1月6日(火)

めで鯛！よろ昆布！おもしろ可笑しいクラフトおせちの展示です。
 木目を上手く活かし、精巧なつくりのアート作品をご紹介します。



めで鯛！よろ昆布！

おもしろ可笑しい、クラフトおせち

鯛、昆布巻、伊達巻、煮付け、かまぼこ、海老、バラんに、白いお米粒。これらは、木工に染付で作られた作品です。その精巧なつくり込みとユーモアあふれる作品は、作家の『作ること』の歓びそのものが映し出されています。

木目は、魚の筋に。バラん模様。どんな食材も、木でできた「食べられないアート」に変わります。2015年の初笑いは、ぜひこのアート作品から。テーブルで見せるお重などの作品の他、壁掛け作品も展示予定です。

【展示内容】

羽子板／向付鉢額／花見弁当／おせち／小皿／小鉢など

【青柳 豊和 略歴】

千葉県出身。東海大学教養学部芸術学科デザイン学課程卒業。

陶芸家金重素山(岡山县重要無形文化財)に師事。

現在、東海大学教養学部芸術学科芸術工房勤務。

自身の研究・制作としては、陶は、信楽焼きなどの焼き締め制作を研究。

木工では、木を素材に食を題材にしたクラフト作品の制作を行う。

木と陶土、異なる素材を融合したおもしろ可笑しい作品を発表している。

－開催概要－ 青柳家の食卓 2015初春 展

会 期：2014年12月18日(木)～2015年1月6日(火)

※2014年12月27日(土)～2015年1月3日(土) 冬期休暇となります。

10：30 - 19：00 / 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：青柳 豊和

協 力：Japan creation space monova